

(参考様式4)

事業所名 グループホームフレンド天下茶屋

目標達成計画

作成日: 令和 5年 10月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No4	規定回数の運営推進会議は開催しているが、構成メンバーが少なく、参加者からの意見が少ない。	近隣のグループホームや介護に関する知見を有する方に参加を依頼していく。 会議の議事録を家族様へ郵送し共有する。	近隣のグループホームや介護に関する知見を有する方へ積極的に出向き、参加を依頼する。 また、郵送での協力依頼も行う。	12ヶ月
2	No35	地域住民との交流が少ない。 地域との協力体制が築けていない。 備蓄品を最低1人3日から1週間分の備えが必要。 備蓄品の数量・消費期限の確認を定期的に行えていなかった。	地域住民との交流を増やす為、運営推進会議に参加の依頼をしていき、協力体制を築けるようにする。 備蓄品の数量・消費期限の管理を定期的に行う。	運営推進会議の参加人数を増やし、地域との協力体制を築いていけるようにする。 備蓄品の食料・飲料水・物資等の数量や消費期限の管理を1ヶ月に1回の頻度で行っていく。	6ヶ月
3	No49	利用者によっては希望はあっても、事故や単独行動のリスクを恐れ、近くの散歩や外出が出来ていない。 リスクのみを考えるのではなく、どのような工夫をすると外出ができるかを考えていく。	利用者全員が外出できるようにしていく。	職員と話し合い、全員を外出できるようなシフト調整をしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。